

序章

STORY

I

松江と水の関わり 001

豊かな水をもたらした地形の成り立ちと先史時代

1. 大陸からの分離と海の形成 005
2. 松江市の自然文化財（自然名勝と天然記念物） 014
3. 人間生活の始まり（先史時代） 019

STORY

II

日本海交流が発展する古代・中世

1. 弥生文化と水 030
2. 松江が水上交通の要をおさえる 040
3. 『出雲国風土記』に記された水 067
4. 水運が支えた中世の中心地 082
5. 中世日本海水運の中核となった美保関 086
6. 中世松江の港町形成 088

STORY

III

新たな水の町の発展

近世（江戸時代）

1. 堀尾氏の松江城築城と城下町建設 092
2. 堀と溝で区画された城下町 094
3. 堀を渡る橋 096
4. 水害対策と川の整備 105
5. 日本海廻船の発達と港の整備 109

STORY

IV

近代化がもたらした水運の変化と水の利活用

（明治時代～現在）

1. 北前船のピークと衰退 116
2. 湖と河川のネットワーク 120
3. 観光地「水の都松江」の誕生と宍道湖の観光資源化 125

STORY

V

度重なる水害とその克服のために

1. 古代の洪水 133
2. 中世の水害 134
3. 江戸時代の水害 135
4. 明治以降の水害 137
5. 水害の変化に対応して 139

終章

おわりに

1. 地形が生み出した松江と水の深い関係 140
2. 交通と交流 142
3. 自然景観と歴史的景観 146
4. 水の恵み 149
5. 水の松江を後世に 151